

団体名： 稲沢商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価							
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	必要性			補足		
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者の事業計画策定と実行支援をすすめ、相談会・セミナーによる集団指導や個別指導等を通じて販路拡大に関する専門相談会を開催するとともに、金融・労務・税務を中心とした経営改善普及事業の更なる普及と利用促進を図る。	◎巡回指導実企業数 559社（うち、非会員数174社） ◎巡回指導延件数 633社（うち、非会員数175社） ◎窓口指導実企業数 269社（うち、非会員数30社） ◎窓口指導延件数 404社（うち、非会員数37社） ◎課題解決提案件数 42件（巡回4社、窓口38社） ◎経営革新等支援件数 4件（経営革新1、経営力向上1、先端設備2）	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 64.8 %)	目標数値 1,600	実績数値 1,037	指標 課題解決提案件数 (達成度 105.0 %)	目標数値 40	実績数値 42	得られた効果 巡回・窓口指導は、828事業所、延べ1,037事業所に対し、巡回や窓口で支援を行った。今年度も未指導事業所に重点をおき、巡回指導を実施し、施策のPR等を行っている。事業計画策定・課題提案等では、一事業所に対し、時間を掛け丁寧に伴走型支援を行い、事業者の発展に寄与している。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 C	調査結果 事業者への調査結果 B	満足度 B	必要性 B	補足	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	①経営支援の原点であるという自覚のもと、未指導事業所の解消に努める。 ②今後も、問題の解決には至らずとも、相談者に対し、何らかの気づきや提案ができる支援を心掛ける。	○
講習会事業	変化する経済環境への対応に苦慮する小規模事業者に対し、基本的な知識・技術の取得や時事的な問題への啓蒙、ならびに経営上で直面する問題解決に向けた個別専門相談により事業所の質的向上と円滑な事業運営に資する。	◎集団 経営革新1回2名/経営一般6回58名/税務4回27名/労働4回10名 延参加小規模事業者数97名 ◎個別 金融12回16名/税務7回46名/労働6回2名 延参加小規模事業者数 64名	小規模事業者	指標 延参加事業者数 (達成度 88.0 %)	目標数値 183	実績数値 161	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	得られた効果 消費税軽減税率やキャッシュレス導入等のセミナーを開催し、事業者の早期準備を促した。また、経営計画策定のセミナーも開催をし、小規模事業者への伴走型支援を始める手がかりとしている。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 C	調査結果 事業者への調査結果 B	満足度 B	必要性 B	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	話題性のある、事業者が興味のある講習会の開催・PRに努める。	
記帳継続指導事業(記帳機械化)	個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と源泉事務や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理により経営力の向上を図る。	◎記帳継続対象事業所 37事業者 対面指導件数 211回 対面指導延回数 496回 指導日数 206日	小規模事業者	指標 記帳機械化対面指導件数 (達成度 117.2 %)	目標数値 180	実績数値 211	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	得られた効果 今年度は消費税率の変更や軽減税率導入等があったため、記帳関係だけではなく、請求書・領収書等についても変更点の周知をし、早めに準備をしてもらった。導入日以降もスムーズに業務が行え、所得税・消費税申告が行えた。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への調査結果 B	満足度 B	必要性 B	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	今年度も案内をしているが、次回の申告では、マイナンバーを取得してもらい、電子申告がスムーズにできるよう、事業者の連絡を密に行う。	
若手後継者等育成事業	小規模事業者の振興・発展を図るため若手後継者の育成支援を通じて経営の資質向上や地域社会の活性化に寄与する。	1.青年部事業 開催回数67回(参加延数602名) 2.女性会事業 開催回数62回(参加延数513名) 3.青年部・女性会合同交流会 1回 45名参加 「女性会事業開催内訳」 ①セミナー3回 ②全国大会への参加 ③ふれあいコンサート ④新春こどもまつり	青年部女性会 会員 (小規模事業者)	指標 事業開催延回数 (達成度 130.0 %)	目標数値 100	実績数値 130	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	得られた効果 青年部・女性会は、ともに事業を通じ、社会貢献や自己研鑽の機会を得ることで、経営者自身の資質向上に繋がり、また地域の活性化に寄与している。女性会においては、イベント等の実施により、活動のPRを行いながら、市内の女性経営者に対し、新規の会員獲得に繋げている。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への調査結果 B	満足度 B	必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	青年部・女性会とそれぞれ別に自己研鑽や地域貢献事業を行っているが、少しずつ交流を深め合いながら、青年部・女性会の合同事業が誕生するよう事務局としてサポートしていく。	
地域振興祭事業(さくらまつり)	毎年の4月上旬に国府宮神社参道において、稲沢市と共催事業として国府宮神社や市文化協会の協力により実施している。メインイベントでは、市内の小売店が地域特産品を販売して観光客へ稲沢市のPRと地域振興に寄与している。	事業実施による延来場者数 8,000名 事業内容 ステージ、フリーマーケット、ふわふわ、特産品販売 事業実施 平成31年4月1日(月)～10日(水) メイン日6日(土)	小規模事業者	指標 延来場者数 (達成度 80.0 %)	目標数値 10,000	実績数値 8,000	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	得られた効果 来場者による国府宮周辺の飲食業への売上げ増や、地元文化協会によるステージ発表など、地域振興にも貢献している。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への調査結果 B	満足度 B	必要性 B	補足	目標 廃止する 実施方法 廃止する	令和2年度も開催する予定で準備をしてきたが、新型コロナウイルスによるイベント自粛により、次年度は中止となった。	
地域振興祭事業(あじさいまつり)	平成3年に大塚性海寺の敷地内一部を稲沢市歴史公園に指定し通称「あじさい寺」として、県外からの観光客を集客している。あじさいまつりは、平成4年度から現在まで継続して実施している。	事業実施による延来場者数 54,000名 事業内容 ステージ、特産品販売、文化財開放 事業実施 令和元年6月1日(土)～16日(日) メイン日8日(土)・9日(日)	小規模事業者	指標 延来場者数 (達成度 108.0 %)	目標数値 50,000	実績数値 54,000	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	得られた効果 市内外から多くの来場者があるイベントで、メイン日に設ける特産品販売ブース等のPR・販売の機会を提供している。また車で来場者が多いため、近隣の飲食・小売業の売上にも貢献している。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への調査結果 B	満足度 B	必要性 B	補足	目標 廃止する 実施方法 廃止する	新型コロナウイルスによるイベント自粛により、次年度は中止となった。	
地域振興祭事業(夏まつり)	平成8年度に実行委員会主体により稲沢公園にて市民夏まつりを開催してきた。平成28年度から、新実行委員会を構成し、祖父江サリオパーク周辺を会場として花火イベントを行う。	事業実施による延来場者数 56,000名 事業実施 ステージ、フリーマーケット、特産品販売 事業実施 令和元年8月31日(土)	小規模事業者	指標 延来場者数 (達成度 112.0 %)	目標数値 50,000	実績数値 56,000	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	得られた効果 夏のイベントとして定着し、多くの来場者がある。祭り会場に、市内事業者を中心に飲食業に、出店の機会を提供している。地域の諸団体とともに運営に関わり、地域振興・地域活性化に寄与している。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への調査結果 B	満足度 B	必要性 B	補足	目標 廃止する 実施方法 廃止する	新型コロナウイルスによるイベント自粛により、次年度は中止となった。	
地域振興祭事業(稲沢まつり)	まつりの歴史も長く、今では秋の市民まつりとして定着し毎年10月中旬に開催している。ステージイベントや市内の企業ブースも充実し多くの来場者で会場が賑わうまつりである。	事業実施による延来場者数 76,000名 事業実施 ステージ、企業ならびに諸団体の展示販売 事業実施 令和元年10月19日(土)・20日(日)	小規模事業者	指標 延来場者数 (達成度 63.3 %)	目標数値 120,000	実績数値 76,000	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	得られた効果 国府宮参道に企業PRブースを設け、飲食だけではなく、様々な業種の事業者のPRの場となっている。50年を超える歴史があり、稲沢市民の地域振興の場となっている。	総合評価 C	事業評価 C	自己評価 C	調査結果 事業者への調査結果 C	満足度 C	必要性 B	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	多くの市内事業者が出展しており、地域活性化事業として今後も継続していく。	
観光振興事業	当地域では、1200年以上の歴史がある天下の奇祭「国府宮はだかまつり」や文化財・歴史遺産の宝庫であり、全国でも指折りの植木・苗木の一大生産地でもある。市内の観光資源を広く情報発信し、特産品開発と様々なイベント会場での販売を通じた文化振興や賑わいづくりにより、地場産業の底上げを図る。	1.特産品等認定延品目 28事業所 44商品 2.観光産業や資源の情報発信事業支援 3.観光イベント(裸まつり、梅まつり、サンドフェスタ等)への協力 支援 4.特産品の販売と支援	小規模事業者を中心とした商工業者ならびに一般消費者	指標 特産品認定者数 (達成度 110.0 %)	目標数値 40	実績数値 44	指標 (達成度 %)	目標数値	実績数値	得られた効果 市内の業者を中心に、稲沢市らしいお土産商品の商品開発を支援してもらい、稲沢市特産品認定委員会が商品審査し「稲沢市特産品」として認定をした。各行事で今後PRをし、販売拡大に繋げる。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 B	調査結果 事業者への調査結果 B	満足度 B	必要性 A	補足	目標 上げる 実施方法 変更する	次年度より、商品の数ではなく、特産品のPR・販売の場を提供できるかということに目標を変更し、それぞれの商品の販路拡大に繋げる。	

団体名： 稲沢商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価									
情報収集・提供事業	商工会議所ネットワークを活用して、各地域の景気動向を毎月調査し、リアルタイムの景気観測情報を小規模事業者へ情報提供する。また、ITを活用して事業所情報をHP上へ発信しビジネスチャンス情報を提供することにより、小規模事業者の活性化を支援する。	1.FAX・メールにLOBO調査による調査 3社×12ヶ月	小規模事業者	指標	LOBO調査数 (達成度 75.0 %)			指標	(達成度 %)			LOBO調査で集計した結果は、日本商工会議所にて集計され、その結果は、会報誌に掲載している。身近な景況感として、自社の経営判断に役立つものである。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	新型コロナウイルスが地域経済に与えている影響は大きく、より正確な情報を得るため、業種を増やし調査を行う。
				目標数値	48	実績数値	36	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					C			C		上げる	
商談会事業	地域商談会やアライアンスパートナー発掘事業へ参加し、企業交流の場を提供し企業の経営基盤強化とビジネスチャンスの創造により、地域商工業の発展に寄与する。	1.地域商談会参加企業数 4社 2.アライアンス・パートナー発掘市事業参加企業数 7社	地域内中小・小規模事業者	指標	延参加人数 (達成度 55.0 %)			指標	(達成度 %)			新たな取引先やパートナーと出会う機会を創造している。受注先が複数になることで、経営が安定し、経営資源の効率化が図られ、健全な経営の礎となっている。	総合評価	C	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	新型コロナウイルスが地域経済に与えている影響は大きく、受発注事業者のバランスも変化すると考えられるが、取引機会が増加するよう、今後も努めていく。
				目標数値	20	実績数値	11	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					C			C		上げる	
雇用促進事業	地域企業の就労者確保や定着促進を図り、意欲と能力のある担い手の育成対策を推進する。	1.新入社員(中途入社を含む)の開催 16社 52名 2.永年勤続従業員表彰の実施 25名	小規模事業者及び中小企業を中心とした管内企業社員	指標	延参加人数 (達成度 96.3 %)			指標	(達成度 %)			小規模事業者1社ずつでは、開催が難しい、新入社員セミナーや永年従業員表彰を行い、事業所の発展に寄与している。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	新型コロナウイルスの影響により雇用情勢に変化がみられると思うが、引き続き事業は継続して行っていく。
				目標数値	80	実績数値	77	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					B			B		現状維持	
人材育成事業	各種検定事業の推進により、職業能力の開発やキャリアアップを図り、将来に向けた地域産業の健全な発展に寄与することを目的とする。	1.珠算検定の実施 年6回 1,227名 2.簿記検定の実施 年3回 118名 3.東商検定 年2回 82名	小規模事業者及び中小企業社員及び市民	指標	延参加人数 (達成度 89.2 %)			指標	(達成度 %)			検定の内容は、ビジネスに直結しており、企業が求める人材育成や、自己研鑽のひとつの目標として利用されている。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	新型コロナウイルスの影響により雇用情勢に変化がみられ、今後は資格獲得の需要が高まると思われることから、PR活動を積極的に行う。
				目標数値	1,600	実績数値	1,427	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					B			B		現状維持	
部会・委員会事業	商工業事業者にて構成する部会あるいは委員会の活動を通じて参加企業の発展に資することを目的とする。	1.部会開催 延26回 242名 2.委員会 2回 49名	小規模事業者を中心とする会員事業所	指標	延回数 (達成度 155.6 %)			指標	(達成度 %)			委員会・部会は、同業種で構成されており、業界の情報交換や意見の集約の場となっている。今年度は、地元企業がまとった土地の取得を市に伝えることができた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	新型コロナウイルスが地域経済に与えている影響も大きく、事業者の現状や意見を集約する場として開催時期を考慮しながら実施する。
				目標数値	18	実績数値	28	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					A			B		現状維持	
福利厚生事業	中小企業の経営と持続的な雇用安定を図るために、各種共済制度の普及啓蒙により福利厚生の充実と企業人材育成に資することを目的とする。	共済事業の推進 1.特定退職金共済制度 675件 2.その他共済事業1,160件	中小・小規模事業者	指標	延加入者数 (達成度 101.9 %)			指標	(達成度 %)			従業員退職金制度は、従業員定着や企業の福利厚生の充実に役に立ち、企業や経営者のリスクに対応した共済は、経営の安定化に貢献している。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	新型コロナウイルスの影響により、雇用情勢も変わるものと思われるが福利厚生は同水準維持、企業のリスクに備える保険があればPRをしていく。
				目標数値	1800	実績数値	1835	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					B			B		現状維持	
労働保険事務組合事業	事業者の委託を受けて、事業主に代わり労働保険料の申告納付と労働保険に関する各種届け出の事務手続きを行うことにより、事業主の事務負担を軽減するとともに、労働保険の適用促進ならびに労働保険料の適正な徴収を行う。	1.委託事業場 275社 うち新規委託事業場 15社 2.一人親方委託事業場 127社 うち一人親方新規委託事業場 14社 合計402事業場	中小・小規模事業者	指標	委託事業場 (達成度 93.5 %)			指標	(達成度 %)			労働保険への加入促進と、情報の提供、労働保険料申告を行う事務組合を支援することで、法令遵守、事務の効率化などに役立っている。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	65歳以上の雇用保険有料化等もあり情報発信や法令遵守に努めてもらうよう、各事業所にPRをしながらか支援をする。
				目標数値	430	実績数値	402	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					C			B		現状維持	
税務関係団体指導事業	税務行政支援団体である青色申告会・法人会組織の活動サポートと事業運営を支援することにより、行政団体はじめ地域社会への貢献に寄与し、地域商工会議所の経営安定に資することを目的とする。	1.稲沢市青色申告会 会員数253事業所 複式簿記による自己記帳の推進と適正申告指導及び組織強化 2.(公社)一宮法人会稲沢支部 会員数506社 国税・地方税の租税教育の推進と組織強化	中小・小規模事業者	指標	会員数 (達成度 98.6 %)			指標	(達成度 %)			青色申告会や法人会の支援を通じ、税への理解を深め、青色申告や電子申告の推進や、消費税率の変更・消費税軽減税率への対応等の周知を行った。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	マイナンバーの取得、電子申告の推奨をPRし、各団体の加入者も増えるようPRに努める。
				目標数値	770	実績数値	759	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					B			B		現状維持	
産業団体等指導事業	稲沢市商業協同組合と稲沢市商店街連合会や管内の各商店街ならびに発展活動サポートと事業運営に協力し、地域の商業振興の活性化と組織基盤強化、地域の消費喚起を図る。	商業団体加入延会員数 132事業所 1.稲沢まつり協賛の大売り出し事業への支援 2.商業協同組合の共通商品券発行事業への支援 3.アイチップ(スタンプ)事業への支援 4.プレミアム商品券発売にかかるとる事業(単年事業)	小規模事業者を中心とする商店街等組織	指標	商業団体延会員数 (達成度 88.0 %)			指標	(達成度 %)			小売・サービス業の廃業が相次ぎ、弱体化する商業団体を支援することで、地域の活性化を保つ役割を担っている。また商業団体に協力を得て、市独自の商品券・プレミアム付商品券事業にも取り組み市内の消費拡大にも貢献した。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	稲沢市独自の商品券事業も今年度で最後となったが、次年度は「まちゼミ」等の企画も予定されていることから、商店街の活性化の支援を継続して行う。
				目標数値	150	実績数値	132	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					C			B		現状維持	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。